

居宅介護職員初任者研修等（研修機関情報）

■法人情報

▶事業所名称／所在地／代表者

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール
所 在 地：北海道岩内郡岩内町字相生194番地
代表取締役：野澤 幸平

■研修機関情報

▶各施設名称／所在地

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール岩内校
所 在 地：北海道岩内郡岩内町字相生194番地

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール小樽校
所 在 地：北海道小樽市堺町5番1号 道通ビル5階

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール余市校
所 在 地：北海道余市郡余市町大川町2丁目21 名店街ビル2階

名 称：有限会社 野澤企画 野澤ビジネススクール倶知安校
所 在 地：北海道虻田郡倶知安町北1条西2丁目8番地 スズキビル2階

▶理念

専門技術を習得し、かつ職場での人間関係を円滑にするために 必要なコミュニケーション能力および生産性の高い業務を遂行できる即戦力となる人材の育成を目的とした企業運営。

▶目的

障がい者（児）に対して、移動支援のサービスを提供するにあたり、介護員の屋内、屋外における適切な介護・介助を提供するために必要な知識や技術・倫理性を有する移動支援従業者の養成を図ることを目的とする。

▶学則

[添付2号様式のとおり](#)

▶設備

備品一覧表 [別紙1のとおり](#)

■研修概要

▶研修課程

全身性障害者移動介護従業者養成研修課程
同行援護従業者養成研修課程（一般課程）※現在休止中

▶受講対象者

通信：14歳以上で心身ともに健康な方

通学：離職、転職者（求職中）の方対象

※講義・演習等、全ての過程を自分ひとりの力で受講・遂行することが可能な方であることが条件です。
妊娠している方は受講できません。

▶研修期間

全身性障害者移動介護従業者：通学3日・通信1日

同行援護従業者：通学3日・通信2日

※各研修の修業年限は最大2ヶ月以内です。

▶日程／定員／時間数

日 程：詳細は随時ホームページにて記載

定 員：各講座20名

時間数：全16時間「全身性障害者移動介護従業者」

全20時間「同行援護従業者一般課程」

▶受講手続

通信方式：募集時期開講日の1ヶ月前から募集し、7日前に締め切る

- ・当社指定の申込用紙に必要事項を記入のうえ郵送または持参により申し込む
- ・本人確認のため免許写しの提出、免許証がない場合は、住民票など申し込みと合わせて提出する
- ・申込内容を確認後、教材等を受講者宛に送付する

▶費用

職業訓練受講者：テキスト代 ¥1,728

一般公募者：全身性のみ受講の場合ー¥15,000（テキスト代込）

初任者研修と合わせて受講の場合ー¥5,000（テキスト代込）

▶留意事項／特徴／受講者へのメッセージ等

本研修ではガイドヘルパーとしての必要な知識や技能を短時間で身につけ現場で活かす事ができます。車いすでの外出等、体験的に学習し知識を深めます。

介護就職先の紹介を受けられます。専門スタッフにより履歴書の作成から就職に至るまで相談を受けることができます。

■課程責任者

▶課程編成責任者名

所属：有限会社 野澤企画

氏名：野澤宏貢

▶科目別特徴 [別紙2のとおり](#)

▶担当講師名 [別紙3のとおり](#)

■研修カリキュラム

▶[全身性障がい者移動介護従業者養成研修（別紙4）](#)

▶[同行援護従業者養成研修（一般課程）（別紙5）](#) ※現在休止中

■教材／指導方法／課題

教材：全身性障害者の外出支援ハンドブック（日本医療企画）
同行援護ハンドブック（日本医療企画）

指導体制：通信方式の面接指導は研修日程によるスクーリングにて行う。他、添削課題について受講者からの質問については、質問用紙にて受付し、回答期限は1回につき2週間を目安とする。
通学方式については、面接指導にて行う。

■修了認定

(1) 出席の確認方法

通信方式：各教科の開始前に出欠確認を行い、各教科の終了後に講師より押印いただく。
出欠は受講証により管理する。

通学方式：各教科の終了後に講師より押印いただく。出欠は出席簿により管理する。

(2) 成績の評定

通信方式：合格点を70点以上とし、不合格（69点以下）の場合は合格点に達するまで、指導、再評価を行う。

通学方式：講義・実技については成績の評定は行わない。

(3) 補講の取り扱い

やむを得ないと認められる事情により受講生が欠席した場合、当該教科につき可能な限り補講を実施する。

通信方式：①他コースによる振替え補講
②個別対応による補講

通学方式：①個別対応による補講

(4) 修了の確認方法

面接指導・演習について研修教科のすべてに出席しなければならない。但し、欠席した教科については補講をもって出席とみなす。

■修了証書等の交付

修了が認定された者には、[修了証明書（別紙6）](#)を交付する

■修了者管理の方法

修了者を北海道知事に報告するとともに、修了者名簿で永年管理する。

■退学規定

- ①受講生が退学しようとする時は所定の退学届を提出すること。
- ②次の行為のあった場合には、当学校より退学を命ずる場合がある。
 - ・ 勉学態度不良等で改善の見込みがないと認められるとき
 - ・ 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき
 - ・ 正当な理由がなくして出席が常でない者
 - ・ 研修の秩序を乱している者

■講師情報（担当科目別）

[別紙7のとおり](#)

■実績情報

過去研修実施回数	平成26年度：3回 平成27年度：3回
過去研修延べ参加人数	平成26年度：24名 平成27年度：29名

■連絡先

▶[申込・資料請求](#)

対応者：野澤宏貢
連絡先：0135-22-7321

▶[苦情対応](#)

対応者：野澤宏貢
連絡先：0135-22-7321

学 則

1 研修の目的

全身性障害者(児)に対して、移動支援のサービスを提供するにあたり、介護員の屋内、屋外における適切な介護・介助を提供するために必要な知識や技術・倫理性を有する移動支援従事者の養成を図ることを目的とする。

2 研修の名称

北海道ガイドヘルパー養成研修

3 研修の要旨

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料(円)	受講対象者
全身性障害者移動介護従業者		昼間(通信)	2ヶ月	1日	20名	15,000円 5,000円	一般受講者(全身性のみ受講) 初任者研修とセットで受講の場合
全身性障害者移動介護従業者		昼間(通学)	2ヶ月	3日	20名	0円	職業訓練受講者
同行援護従業者養成研修課程(一般過程)		昼間(通学)	2ヶ月	3日	20名	11,550円	一般受講者

※同行援護養成研修は現在休止中

4 受講手続

- (1) 募集時期 募集時期開講日の1ヶ月前から募集し、7日前に締め切る。
- (2) 受講料納入方法 指定の期日までに金融機関に振込むか現金を持参すること。なお、研修の開始までに受講料が入金されないときは、受講を断る場合がある。
- (3) 受講料返還方法 受講前については、当社の都合により研修を中止した場合に限り、受講料を返還する。研修開始後は、理由の如何を問わず、受講料は一切返還しない。
返還方法は、受講者希望の銀行口座へ振込または現金にて返還。

5 研修時間数

全身性障害者移動介護従業者(別紙4)

同行援護従業者(別紙5)

6 主要テキスト

同行援護ハンドブック-視覚障害者の外出を安全に支援するために-(日本医療企画)
全身性障害者の外出支援ハンドブック-ガイドヘルプの基本と実践-(日本医療企画)

7 修了認定

- (1) 出席確認 各教科の開始前に出欠確認を行う。
講義終了後、出席簿に担当講師に押印していただき管理する。
- (2) 成績の評定方法 (ア)通学方式
成績の評価は行わない。
(イ)通信方式
通信課題については、合格点を70点以上とし、不合格(69点以下)の場合は合格点に達するまで、指導・再評価を行う。
- (3) 修了の確認方法 (ア)通学方式
通学方式により、「9補講の取扱い」後段の場合を除き、研修教科の全てに出席しなければならない。
(イ)通信方式
通信の講義・演習については、研修教科のすべてに出席しなければならない。但し、欠席した教科については補講をもって出席とみなす。
通信の講義については、通信課題の提出を求める。合格点を70点以上とし、不合格(70点未満)の場合は合格点に達するまで、再提出、再評価を行う。
- (4) 修了証明書 修了が認定された者には、(別紙6)の修了証明書を交付する

8 補講の取扱い

やむを得ないと認められる事情により受講生が欠席した場合、当該教科につき可能な限り補講を実施する。

9 退学規定

- ① 受講生が退学しようとするときは、所定の退学届を提出すること。
- ② 次の行為のあった場合には、当学校より退学を命ずる場合がある。
 - ア) 勉学態度不良等で改善の見込みがないと認められるとき
 - イ) 学力劣等で修了の見込みがないと認められるとき
 - ウ) 正当な理由がなくて出席が常でない者
 - エ) 研修の秩序を乱している者

10 講師

別紙3(講師情報)及び別紙7科目別講師一覧のとおり

設備・備品一覧表

平成 28 年 10 月 1 日現在

区分	台数	設置済・レンタル	合計数
①机	20	設置済	20
②いす	20	設置済	20
③ホワイトボード	1	設置済	1
④スクリーン	1	設置済	1
⑤プロジェクター	1	設置済	1
⑥パソコン	2	設置済	2
⑦コピー機	1	設置済	1
⑧ベッド	5	設置済	5
⑨車いす	5	設置済	5
⑩ポータブルトイレ	1	設置済	1

①～②の備品は適宜定員分揃えること。

③～⑧は常時設置してあること。

⑨～⑩の備品は適宜揃えること。

※その他消耗品等については、適宜定員分揃えること。

研修区分表

科目・教科		研修時間		到達目標・講義の内容・演習の実施方法	
		通学	通信		
講義	(1)	障害者総合支援制度とサービス	2	添削問題	<p>講義内容: 障がい者(児)福祉の背景と動向、障害者総合支援制度とサービスの種類、内容とその役割について学習する。</p>
	(2)	移動介護の制度と業務	1	添削問題	<p>講義内容: 移動介護の制度、移動介護従業者の業務について学習する。</p>
	(3)	居宅介護概論	2	添削問題	<p>講義内容: 居宅介護の社会的役割、制度と現状、業務の基本、関連機関との連携について学習する。</p>
	(4)	居宅介護従業者の職業倫理	1	1	<p>講義内容: 福祉業務従事者としての倫理、介護職としての社会的責任、居宅介護においてとるべき基本態度について学習する。</p>
	(5)	重度肢体不自由者(児)における障害の理解	1	添削問題	<p>講義内容: 業務において直面する頻度の高い障害、疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに介助に必要な状態像を把握する。肢体不自由の原因疾患(脳性まひ、脳血管障害、頸椎損傷など)及び症状の理解について学習する。</p> <p>演習方法: 移動介助の際の留意点について習得する。</p>
	(6)	介助に係わる車いす及び装具等の理解	1	添削問題	<p>講義内容: 移動介助に必要な車いすや装具等について知識を深め、それらの機能について学習する。</p> <p>演習方法: 車いす、電動車いす、重度肢体不自由者用の構造と機能、装具や自助具等の機能、点検と対処のポイントについて習得する。</p>
	(7)	姿勢保持について	1	添削問題	<p>講義内容: 良好な姿勢保持の必要性を理解するとともに、その方法を学習する。</p> <p>演習方法: 良好な姿勢の必要性。良好な姿勢保持の方法。姿勢保持の留意点について習得。</p>
	(8)	コミュニケーションについて	1	添削問題	<p>講義内容: 言語障害についての理解を深め、言語障害のある人への接し方について、またコミュニケーションの大切なポイントと障害における介助者の対応について学習する。</p> <p>演習方法: 伝達事項の難しさについてグループワークを通して学習する。</p>
	(9)	事故防止に関する心がけと対策	1	添削問題	<p>講義内容: 事故防止のための移動と留意点、事故時の対応について学習する。</p> <p>演習方法: アクシデントが発生した場合の対応や応急処置などについて、また介助者自身のからだの保護について習得する。</p>
	(10)	障がい者(児)の心理	1	添削問題	<p>講義内容: 障がい者(児)の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について学ぶ。先天的障がいや後天的障がい中途障がい者の心理について学習する。</p> <p>演習方法: 障がい者の心理と人間関係や肢体不自由者の心理的特徴についてグループワークを通して学習する。</p>
演習	(1)	抱きかかえ方及び移乗の方法	1	1	<p>講義内容: 車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法を学習する。</p> <p>実技方法: 床と車いす間の移乗、ベッドと車いす間の移乗(2人の介助者で行う場合等)、車いすとトイレ間の移乗について習得する。</p>
	(2)	車いすの移動介助	2	2	<p>講義内容: 車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを学習する。</p> <p>実技方法: 車いすの取り扱い方、移動介助における注意点(雨の日)、平地での移動、階段における移動、エレベーター、エスカレーターの利用、乗り物を利用する場合の注意、歩行移動介助方法の留意、砂利道や砂地での移動について習得する。</p>
	(3)	生活行為の介助	1	1	<p>講義内容: 衣服を選ぶポイントや天気(外出時の携帯衣類)への対応、衣服着脱の介助方法、誤嚥や窒息などを防ぐ食事の正しい姿勢や、障害に合わせた食物形態、外出先での食事の介助方法、排泄介助を受ける障害者の心理や配慮、排泄の介助方法について学習する。</p> <p>実技方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の介助方法 ・衣服着脱の介助方法 ・排泄の介助方法

野澤ビジネススクール講師情報

講師氏名		資格(取得年月)
		略歴(実務年数)
1	山岸 育未	介護福祉士・全身性(H18.3.17)
		介護老人保健施設麓華苑(3年1ヶ月)
		羊蹄グリーン病院(10ヶ月)
		ヘルパーステーションさんきゅう(3年10ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
2	相馬 美奈子	介護福祉士(H15.3.1)介護支援専門員(H20.3.1)
		赤井川村役場「訪問介護員」(9年1ヶ月)
		赤井川村役場「介護支援専門員」(1年1ヶ月)
		小規模多機能ホームつみき(5年) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
3	小林 清子	介護福祉士(h15.3.1)
		デイサービスかるな(1年)
		森内科胃腸科医院(5年9ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
4	中村 咲子	介護福祉士(H5.7.27)全身性(H24.12.3)
		留寿都村役場(銀河荘)(37年) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
5	松下 恵美子	介護福祉士(H14.4.26)
		特別養護老人ホームグリーンピアしのろ(6年7ヶ月)
		特別養護老人ホームロータス(3年6ヶ月)
		平野学園介護講師(6年9ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
6	平山 すみ子	看護師(S48.5)介護支援専門員(H13.12)社会福祉士(H23.4)
		特別養護老人ホーム仁木長寿園(2年10ヶ月)
		グループホーム仁木やすらぎの里(8年11ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
7	河野 恭子	看護師(H14.4)全身性(H16.4)
		医療法人社団倫仁会(5年7ヶ月)
		北海道余市養護学校(1年) 有限会社野澤企画介護講師(H25.11~)
8	中村 紀子	介護福祉士(H15.12)介護支援専門員(H19.3)全身性(H17.3)
		介護付有料法人ホームライフドリーム藤美(1年3ヶ月)
		介護付有料法人ホームあさひガーデン(2年11ヶ月)
		介護付有料老人ホーム天(1年5ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(H25.11~)
9	中村 都	介護福祉士(H25.4)
		老人保健施設ハイツ998(2年7ヶ月)
		(株)FPDヘルパーステーションさんきゅう(1年4ヶ月)
		泊村社会福祉協議会デイサービス(3年7ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(h25.4~)
10	菅藤 のり子	准看護師(H3.3)看護師(H6.4)
		札幌山の上病院(2年3ヶ月)
		医療法人誠仁会介護老人保健施設よいち(3年8ヶ月)
		社会福祉法人仁木福祉会特別養護老人ホーム仁木長寿園(10年5ヶ月) 有限会社野澤企画介護講師(H27.4~)
11	神野 智子	訪問介護員2級(H22.5)居宅介護従業者養成研修2級(H22.5)
		株式会社道央ケアセンター(3年6ヶ月)
		(医)社団北商匠会小樽中央病院(2年) 有限会社野澤企画介護講師(H27.11~)

別紙4

▶全身性障害者移動介護従業者養成研修カリキュラム

通学制

教科名		時間数
講義	1 障がい者社に係る制度及びサービスに関する講義	
	(1) 障害者総合支援制度とサービス	2
	(2) 移動介護の制度と業務	1
	2 身体障がい者居宅介護等に関する講義	
	(3) 居宅介護概論	2
	(4) 居宅介護従業者の職業倫理	1
	3 全身性障がい者の疾病、障害等に関する講義	
	(5) 重度肢体不自由者（児）における障害の理解	1
	(6) 介助に係わる車いす及び装具等の理解	1
	4 基本的な移動の介護に係る技術に関する講義	
	(7) 姿勢保持について	1
	(8) コミュニケーションについて	1
	(9) 事故防止に関する心がけと対策	1
5 障がい者の心理に関する講義		
(10) 障がい者（児）の心理	1	
演習	1 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習	
	(1) 抱きかかえ方及び移乗の方法	1
	(2) 車いすの移動介助	2
	(3) 生活行為の介助	1
合 計		16

通信制

教科名		時間数	
		面接指導	添削指導
講義	1 障がい者社に係る制度及びサービスに関する講義		
	(1) 障害者総合支援制度とサービス		2
	(2) 移動介護の制度と業務		1
	2 身体障がい者居宅介護等に関する講義		
	(3) 居宅介護概論		2
	(4) 居宅介護従業者の職業倫理	1	
	3 全身性障がい者の疾病、障害等に関する講義		
	(5) 重度肢体不自由者（児）における障害の理解		1
	(6) 介助に係わる車いす及び装具等の理解		1
	4 基本的な移動の介護に係る技術に関する講義		
	(7) 姿勢保持について		1
	(8) コミュニケーションについて		1
	(9) 事故防止に関する心がけと対策		1
5 障がい者の心理に関する講義			
(10) 障がい者（児）の心理		1	
演習	1 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習		
	(1) 抱きかかえ方及び移乗の方法	1	
	(2) 車いすの移動介助	2	
	(3) 生活行為の介助	1	
合 計		5	11

※研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは上記の研修カリキュラムのとおりです。

▶同行援護従業者養成研修（一般課程）カリキュラム

通学制

教科名		時間数
講義	1 視覚障がい者（児）の福祉サービスと同行援護の制度に関する講義	
	（１）視覚障がい者（児）の福祉サービス	1
	（２）同行援護の制度と従業者の業務	2
	2 障がい者の障害・疾病に関する講義	
	（１）障害・疾病の理解	2
	3 障がい者（（児））の心理に関する講義	
	（１）障がい者（児）の心理	1
4 情報支援と情報提供に関する講義		
（１）情報支援と情報提供	2	
5 代筆・代読の基礎知識に関する講義		
（１）代筆・代読の基礎知識	2	
6 同行援護の基礎知識に関する講義		
（１）同行援護の基礎知識	2	
演習	1 移動支援に係る技術に関する演習	
	（１）基本技能	4
	（２）応用技能	4
合 計		20

通信制

教科名		時間数	
		面接	添削
講義	1 視覚障がい者（児）の福祉サービスと同行援護の制度に関する講義		
	（１）視覚障がい者（児）の福祉サービス		1
	（２）同行援護の制度と従業者の業務	1	1
	2 障がい者の障害・疾病に関する講義		
	（１）障害・疾病の理解		2
	3 障がい者（（児））の心理に関する講義		
	（１）障がい者（児）の心理		1
4 情報支援と情報提供に関する講義			
（１）情報支援と情報提供		2	
5 代筆・代読の基礎知識に関する講義			
（１）代筆・代読の基礎知識		2	
6 同行援護の基礎知識に関する講義			
（１）同行援護の基礎知識		2	
演習	1 移動支援に係る技術に関する演習		
	（１）基本技能	4	
	（２）応用技能	4	
合 計		9	11

※研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは上記の研修カリキュラムのとおりです。

修了証明書

第 号

修了証明書

氏 名

年 月 日生

「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成十八年九月二十九日厚生労働省告示第五百三十八号)に規定する研修の(別記)課程を修了したことを証明する。

年 月 日

有限会社 野澤企画
代表取締役 野澤 幸平 印

第 号

修了証明書(携帯用)

氏 名

年 月 日生

「指定居宅介護等の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの」(平成十八年九月二十九日厚生労働省告示第五百三十八号)に規定する研修の(別記)課程を修了したことを証明する

年 月 日

有限会社 野澤企画
代表取締役 野澤 幸平 印

同行援護従業者養成研修一般
全身性障害者移動介護従業者養成研修

講師一覧

研修課程 全身性障害者移動介護従業者養成研修

事業所の所在地 後志管内

介護福祉士	調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
	1	山岸 育美	<ul style="list-style-type: none"> ●居宅介護概論 ●居宅介護従業者の職業倫理 ●コミュニケーションについて ●障がい者(児)の心理 	介護福祉士	兼任	添削
	2	相馬 美奈子		介護福祉士		
	3	小林 清子		介護福祉士		
	4	中村 咲子		介護福祉士		
	5	松下 恵美子		介護福祉士		
	8	中村 紀子		介護福祉士		
	9	中村 都		介護福祉士		

社会福祉士	調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
	6	平山 すみ子	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者自立支援制度とサービス ●障がい者(児)の心理 	社会福祉士	兼任	添削

訪問介護員	調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
	11	神野 智子	<ul style="list-style-type: none"> ●居宅介護概論 ●居宅介護従業者の職業倫理 ●障がい者(児)の心理 	ホームヘルパー2級 居宅2級	兼任	添削

看護師	調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
	6	平山 すみ子	<ul style="list-style-type: none"> ●重度肢体不自由者(児)における障がいの理解 ●介助に係わる車いす及び装具等の理解 ●コミュニケーションについて ●事故防止に関する心がけと対策 ●障がい者(児)の心理 ●抱きかかえ方及び移乗の方法 ●車いすの移動介助 ●生活行為の介助 	看護師	兼任	添削
	7	河野 恭子		看護師		
	10	菅藤 のり子		看護師		

全身性障害者移動介護従業者	調書番号	氏名	担当科目(教科)	資格名	専兼別	備考
	1	山岸 育未	<ul style="list-style-type: none"> ●移動介護の制度と業務 ●姿勢保持について ●事故防止に関する心がけと対策 ●抱きかかえ方及び移乗の方法「演習」 ●車いすの移動介助「演習」 ●生活行為の介助「演習」 	全身性障害者移動介護従業者	兼任	添削
	4	中村 咲子		全身性障害者移動介護従業者		
	5	松下 恵美子		全身性障害者移動介護従業者		
	7	河野 恭子		全身性障害者移動介護従業者		
	8	中村 紀子		全身性障害者移動介護従業者		